

令和7年
春号
No. 39
令和6年度
第2回発行

ちいき

〈発行〉福生市町会長協議会 会長 撰梅敏夫

今号の主な見出し

- ・1面 連載 防災対策 第3回「備蓄する」
- ・2～3面 町会・自治会紹介
- ・4面 協議会活動報告

連載

「災害時、生き残るための防災対策」

第3回「備蓄する」



「災害時、生き残るための防災対策」第1回では生き延びる方法、第2回では近隣同士の助け合いをテーマとしました。最終回は生き残ったあとの「備蓄」について考察します。

災害時、復旧開始までの数日間(最低3日、推奨1週間)、ご自身やご家族が生活できるよう、食料や生活用品を備蓄しておく事が大切です。自宅が倒壊せず、避難所へ行かずに「家族4人で3日間生き延びる」ためには、何を準備しておけば良いのか考えてみます。

1 食品等

- ・飲料水…3ℓ×4人×3日=36ℓ
- ・非常食…レトルトご飯36食、レトルト食品12個、缶詰(さばの味噌煮、野菜など)12缶、栄養補助食品12箱、カップラーメン3個、無洗米5kgなど



◎ローリングストックで備蓄する

お米や乾麺、缶詰、カップラーメンなどは、定期的に消費して不足分を買い足すようにしましょう。



2 衛生用品

- ・簡易トイレ60回分など

3 生活用品

- ・火器…自立式の石油ストーブは、灯取り・煮炊き・冬場の暖房器具として優れたものです。カセットコンロ(ガスボンベ)なども重宝します。
- ・灯り…ろうそく、ランタンライト



4 乳幼児用品

- ・粉ミルクなど
- ・おむつ30個

代表的な物資を考えましたが、スマホなどで「東京備蓄ナビ」を検索して、家庭の人数別の備蓄品を調べてみましょう。

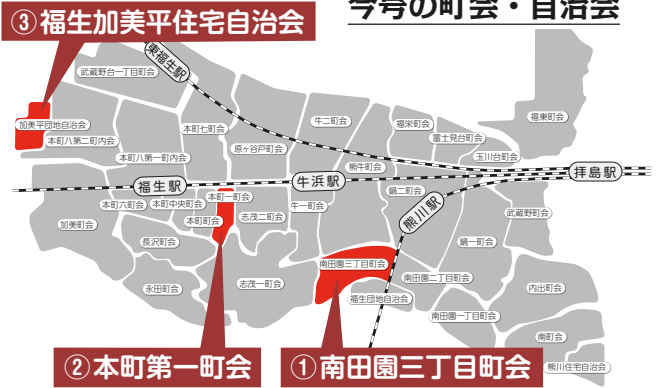
参考：東京備蓄ナビ

DIRECT「家族4人で3日間生き残る、備蓄と防災グッズ選び」



3つのテーマから町会・自治会の活動を紹介します

今号の町会・自治会



支えあい

- ◆安全・安心を支える活動 (防犯パトロール、防災訓練など)
- ◆子どもたちの健全育成に取り組む活動 (あいさつ運動、声かけ運動など)
- ◆まちを美しくする活動 (町内清掃、花いっぱい運動など)

うるおい

- ◆地域住民の健康づくりを進める活動 (運動会、ラジオ体操など)
- ◆福祉に関する活動 (敬老会、募金活動など)

にぎわい

- ◆イベント活動 (夏祭り、盆踊り、もちつき大会など)

支えあい
顔の見える 支えあいの地域

① 南田園三丁目町会
会長 板垣 和生

わたしたちの地域は、主に南田園三丁目と北田園一丁目の西を中心とした田園通り沿いに位置しています。

福生ほたる公園、多摩川中央公園などがあり、福生七小・福生三中学区域で、桜花爛漫たる市民憩いの地域です。

毎年「ふっさ桜まつり」「福生ほたる祭」の賑わいに触れ、また、災害に備えて「四地区合同水・防災訓練」に参加しています。

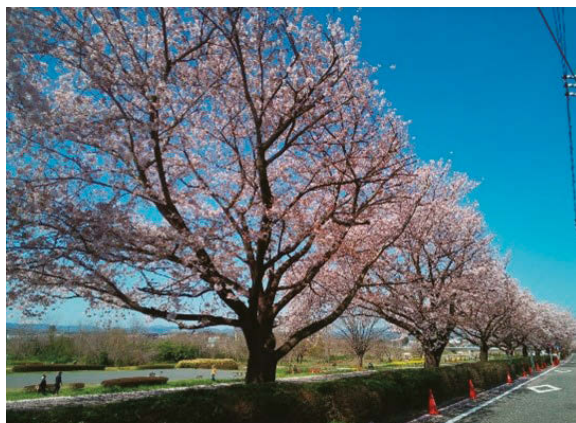
加えて、地元の小・中学校が東京都の「コミュニティ・スクール」指定校となっていて、例年の災害訓練や学区域で行われる「七五三あいさつ運動」に参加するなど、いまや地域の子どもたちとwin-winの連携で「子育てのまち福生」を創出しています。

また、できる限り会合を合理的に集約して、障がい者や高齢の方々の負担軽減に配慮した町会運営を目指しています。

これからも、わたしたち「南田園三丁目町会」は「少しでも・できる人が・できる範囲で無理なく」をモットーに声を掛け合い、工夫し助けあいながらコミュニティを築いていきます。

昨年、発災した能登の震災と大雨の災害は記憶に新しいところですが、他方では連日の報道をにぎわす「詐欺・強盗事件」などにふれるたび、もはや対岸の火事ではなく自分ごととして受け止めていくしかありません。

「安心・安全」のまちづくりは、たがいに「顔の見えるおつきあい」からはじめることを心掛けていきたいと思っています。



桜並木と多摩川中央公園

うるおい
公園がたまり場

② 本町第一町会
会長 北村 良之

本町第一町会は市役所の周り170世帯程の町会で、半数はマンションの住人で構成されています。町会の会館は無いので会議は主にもくせい会館を借りて行います。町会内にはひふみ公園があり、ここで祭礼、防災訓練、ラジオ体操、花の植栽、清掃活動などを行っています。

6月の環境週間、歳末の清掃、春のお花見会など、公園をたまり場としています。コロナの時期は総会も公園で行いました。ということ、町会員はひふみ公園に愛着を持っています。



ひふみ公園の清掃と花壇の植栽



女性部は毎年七夕飾りも作成



親子の力作！花壇が完成

近年は女性部有志で週に3〜4回清掃や季節の花などの植物を植えています。マンションの方々も自分の庭のように思っ手入れをします。町会の運営には役員もバランス良く2つのマンションと一般住宅の会員で構成しています。回覧は全世帯に配られるようになっていますが、最近は町会のライングループを作っ出来るだけ多くの会員に入ってもらうようにしています。

健康づくりの一環として毎年夏休みに入る時期に自治会主催のラジオ体操を1週間実施しています。高齢



お茶とお菓子で和やかに「加美平カフェ」

毎月第二土曜日にサロン活動として「加美平カフェ」を開催。午後の2時間、多くの皆さんの集いの場となっています。

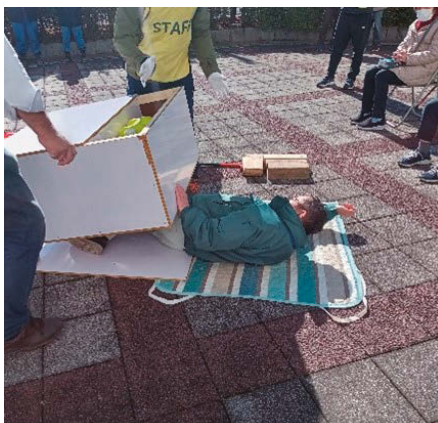
福生加美平住宅自治会は「安心・安全・住んでいてよかった地域づくり」を目指して様々な取り組みをしています。

支えあい

ひとと地域をつなげる力に

③ 福生加美平住宅自治会

会長 青海 俊伯



災害に備えて疑似体験

防災・防犯の取り組みは月2回の防災防犯パトロールと毎週1回の迷惑駐車パトロールを行っています。また、毎年行う防災訓練では、身近な防災、例えば家具の下敷きになった疑似体験などを実施し、避難所の運営とは別に地域の身近な安全対策に力を入れています。



ラジオ体操で活気に満ちた住宅内

の方から小学生まで大勢の方が参加しています。

町会・自治会は皆さんの加入をお待ちしています。

【加入方法】右のQRコードを読み込み、表示された申込フォームから必要事項を入力し、送信してください。



後日、町会・自治会長より連絡があります。

【町会・自治会に関する問合せ先】
福生市役所 生活環境部 協働推進課
TEL: 042-551-1590 (直通)

もっと知りたい! 町会・自治会のこと

福生市 町会長協議会 website



「ちいき」バックナンバーも掲載しています。

様々な活動を通して、役員さんをはじめ、多くの皆さんの協力で地域力の向上を目指しています。



「ふくふくまつり」で プラバンづくり



昨年12月の「ふくふくまつり」では、来場されたお子さん達がプラバンづくりを体験できるブースを出展。お気に入りのイラストに夢中で色を塗る子どもたちを見守る保護者の方にも、パネル展示でしっかりと町会・自治会活動のPRを行いました。



町会・自治会PR動画を放映

活性化部会員が、我が街の取組を紹介しました。見逃された方、本年は是非ご覧ください！
(毎年10月頃、福生市役所ロビーで放映予定)



▲タンブラー

※撮影は成人式実行委員会の方々に御協力いただきました。

成人の日 記念品を贈呈

令和7年1月13日、福生市成人式に参加された対象の皆様は町会長協議会から、エコ素材のタンブラーと町会・自治会を紹介するパンフレットをプレゼントしました。
私たち町会・自治会は、若い方々のご活躍を見守るとともに、地域の皆さんが協力し、助け合える環境づくりに今後も取り組んでいきます。

イベントにひらいて 学ぶ地域づくり 講演会に参加

令和7年2月8日、福生市主催の地域づくり講演会「地域をもっと元気に！」コミュニティを支えるイベント企画・運営講座」がもくせい会館3階で開催され、町会・自治会からは、町会長協議会長をはじめ、各会長や関係者も多数参加しました。



NPO法人CRファクトリーのインストラクターが、イベント運営や企画設計・集客の全体像を示したうえで、注意すべきポイントや効果的に行うコツを具体的な事例を交えて解説。参加者が実際にワークシートを使ってイベントを企画・設計し、グループ内で共有する時間も設けられ、他の参加者や団体と知り合い、活動内容や取組方法などについて情報交換を行える場となりました。

編集委員長
田村 宏彦
編集委員
細谷 満広
小川 肇
伊藤 弘大
鷲東 和美

編集後記 連載企画「災害時、生き残るための防災対策」はいかがでしたでしょうか。「生き延びる」「助け合う」「備蓄する」ことについて、優先順位を意識して準備しましょう。自助を強化することが、地域ぐるみの災害対応(共助)につながります。



広告掲載スペース